



かし お がわ

柏尾川で生きている魚の種類は？



一度は汚れた水が、だんだんきれいになってきました。

柏尾川の水は、かつてはもっと汚れており、魚の姿は消え、汚れに強いイトミミズなど(底生動物といいます)がいるだけでした。これは、増え続ける工場や家庭の汚水が川に流れ込んでいたためです。最も汚れていた1970年代には、BOD(コラムを見てください)が20mg/lを超えました。

その後、下水道の整備(詳しくはP.26~27を見てください)により、だんだんきれいになり、BODは3mg/l程度にまで下がりました。その結果、多くの生き物が見られるようになりました。

コイやフナが多いです。

コイは雑食で汚れていても平気なため、かつてよく放流されました。その後数が増え、水がきれいになった今も一番よく見かけます。また、フナもたくさんいます。やはり、多少の汚れた水でも平気です。



おなじみのコイ



フナ



コイ

モツゴやメダカ、オイカワそしてアユも生きています。

クチボソと呼ばれる小さな魚であるモツゴや、放流して数が増えてきたメダカやオイカワも生きています。また、季節によってアユの姿も見かけるようになってきました。



モツゴ



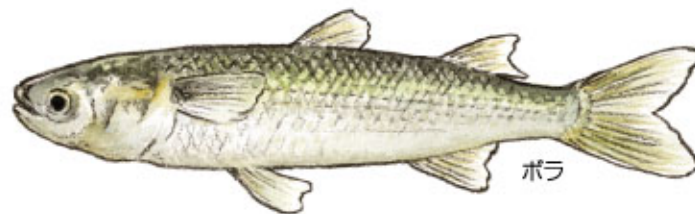
メダカ



オイカワ

下流にはハゼやボラの姿も。

相模湾からの海水が混ざる(感潮域といいます)下流では、ハゼや海からさかのぼってきたボラを見ることができます。



ボラ



BOD(生物化学的酸素要求量)とは？

- 微生物が、水に含まれた栄養分を分解するときに必要なとする酸素の量で、汚れている(栄養分が多い)と値が大きくなります。

横浜市環境保全局水質地盤課 ☎671-3508

問い合わせ先 横浜市環境保全局環境科学研究所 ☎752-2606

